

日本は地震列島だどつくづく思わされています。熊本地震での活断層の地震は、今も続いています。10日に発表された今後30年間の地震発生確率「全国地震動予測地図」に寄ると、千葉市は85%で、県庁所在地の中で全国1位です。このところ茨城県南部が震源の大きな地震に2度驚かされました。

今年の消費生活展は地震防災をテーマに新しい情報も調べて取り組むことになりました。

バス見学会の見学先変更

行き先 恋する豚研究所・クラインガルテン栗源
集合日時 7月5日(火) 9時20分
集合場所 我孫子駅北口ふれあい広場
昼食費 1280円
先着 30名

営農的太陽光発電を見せてもらう予定でしたが、事情があつて無理になりました。恋する豚研究所の近くにある「道の駅くりもと紅小町の郷」と香取市農政課の滞在型市民農園「クラインガルテン栗源」を見せてもらいます。

クラインガルテン栗源は、平成18年に作られ、20区画あり今は満室。7件が来年度待ちの状態です。農政課の職員が説明をしてくださいます。先着30名。後2名です。

7月定例会

7月4日(月) 13:30~16:30

我孫子南近隣センター 8F調理室

定例勉強会として「防災必需品について」

こんなものを用意すると良い、というものがありませんら是非お持ちください。

食品添加物 気をつけるものは?

そもそも消費者の会の発足は、その頃お豆腐の防腐剤として使われていたAF2という食品添加物に発ガン性がみつき、使用禁止になったことから、今まで知らないで食べていたことにショックを受け、新聞を気をつけて読み、情報交換しましょうと、初代の会長、下宰江さんが立ち上げられました。

その後各地の活動の結果、食品添加物に関してはかなり整理され、安全性についても確認され、表示もされるようになりましたが、未だに解決されない問題は残っています。

そして、TPPの先取りや業界の圧力で、今増加の一途を辿っていると指摘する学者もいます。今回は色素について。

「タール系色素(赤色104)(黄色5)等」EUでは、タール系色素6種(そのうち日本では赤色40号、赤色102号、黄色4号、黄色5号が指定添加物)が、アレルギー、行動異常などのリスクにより、警告表示義務。黄色5号は「子どもの行動や注意に有害かも知れない」と書いて注意喚起しなければならない。多動性、発達障害の危険があるということ。

「コチニール色素」エンジ虫由来の赤色色素。アレルギー発症が報告されています。

「カラメル色素」ソース、菓子、飲料に使われ、カラメルI~IVの4種あり、IIからIVは発ガンが疑われるものですが、日本の表示では区別できません。

(「自然食ニュース No. 497」から)



突然の入院の準備品の追加

先月号で入院準備品のお知らせをしましたが、会員の方から「スリッパ」「筆記用具」「メモ帳」を追加するよう指摘をいただきました。確かに必要ですね。どうぞご準備を。

また、冷蔵庫にある安心カードを持ってきてもらうことも必要でしょう。

団塊世代サミット

あびこ市民活動ネットワークとあびこ市民活動ステーションが開きます。

日時 7月10日(日) 14:00~18:30

場所 我孫子市民プラザホール

参加費 300円

定員 100名[申込順]

申込 FAX7165-4370 市民活動ステーション
~みんなで楽しんで 地域遊泳!

そして繋がるう~

- ・我孫子の現状を知る 我孫子市副市長のお話
 - ・地域の現状 HP と冊子で紹介
 - ・地域活動団体からの提言
 - ・テーマ「我孫子で楽しく暮らすために何ができるか!」で参加者グループ討論と報告
 - ・アトラクション「ビートルズを歌う!」
ジャズバンド” ALL Display”
 - ・懇親会 (缶ビール片手に!)
- 各自お申込を。

東北を忘れない旅 NO.4 日程

消費者の会の事業ではありませんが、今年で4回目になる「東北を忘れない旅」の日程だけ決まりました。

8月29日(月) 30日(火)

アイヤマ観光のバスを借りて行きます。

詳しい内容はこれからですが、日程だけ確保され、希望者は和田へお申込ください。

先着27名。

高齢社会への対応を探る会イベント

これも詳細は今後です。

10月8日(土) 講演の講師は樋口恵子さんと決まりました。これも日程を確保され、是非多数ご参加ください。

我孫子の廃棄物現状と課題 及び新炉について

6月6日の定例会で、クリーンセンターの職員からお話を伺い、私たちの要望も出しました。要点を報告します。数字は26年度。

- ・現在の焼却施設=2機で195t/24時間
建替えが必要な時期
- ・ごみ収集量は人口減に伴い減少傾向
- ・放射能の影響で燃やせないごみは増量
- ・一人一日当たりの排出量 851g=26年度の基本計画の数量はほぼ達成
- ・可燃ごみの分析=相変わらず紙類が多い
各家庭での分別の徹底を
- ・最終処分にお金がかかっている=放射能の影響で埋め立てが増えたため
- ・資源化率25.3%=千葉県内で9位(かつて40%)
- ・生ごみの堆肥化=実験的に行なっているが、今後については不明。堆肥の放射能問題で、農家の引き受け手が減少。

新炉について

平成33年度稼働を目指し地元合意ができたところ。65tのものを2基、国の交付金の関係で、発電施設をつけることになる。6月議会を通れば設計に取り掛かる。「その他プラ」は燃やすことになるか現時点では不明。

要望として

- ・新炉で発電するからといって、リサイクルを止めてしまうのか?良く検討して欲しい。
- ・小学4年生の授業が、放射能が高いからと、クリーンセンターでは受け入れていないが、出張授業をするなど、勉強の中身を充実させて欲しい。是非働きかけを!
- ・ディスプレイは今後のマンションもつけないことを望む。ベランダでダンボール箱で処理できる。方法はいろいろある。

新入会員のお知らせ

原田隆 我孫子2-3-1024

7184-5180

~ ~ ~ ~ ~

皆様 お元気で梅雨を乗り切りましょう!!